

2017
新学期スタート!



道民教 **春の学習会**

子どもも教師も笑顔かがやく学校に
～子どもに寄り添い学ぶ教師に～

4月29日(土) 《特別企画》10:20～12:00
13:15～17:00(受付 13:00～)

■
と
こ
ろ

ちえいあ(札幌市生涯学習センター)

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
(地下鉄宮の沢駅直結)

◆特別企画◆ 10:20～12:00 ※詳細は裏面をご覧ください

「いま 子ども食堂は?!」二本松 一将さん×二通 諭さん

■
資
料
代
■

1,000円

※道民教・サークル
会員・事前申し込み
800円
※学生 500円

■ 13:20～14:40 全体講演 「いま〈子ども理解〉をふまえるとは」

■
日
程
・
内
容
■

「こんなときどうする?」

～実践事例で考える発達障害のある子ども・青年への教育的アプローチのあり方～

講師 二通 諭 さん (札幌学院大学人文学部人間科学科教授、道民教会長)

●今、どの学級にも、発達障害を抱えた子どもが数人いるという状況です。しかし、学校現場は忙しく、発達障害の特徴や具体的な関わり方を学ぶ機会は十分にありません。子ども理解、障害理解が担保されてこそ子どもたちは成長していきます。このことは健全な子どもたちの〈子ども理解〉と共通です。「こんなときどうする?」と、具体的な対応の仕方について共に考え、学びます。



【プロフィール】

●長年にわたり石狩管内の小・中学校で特別支援教育の実践をされてきたスペシャリスト。札幌学院大学で発達障害や精神的な困難を抱える学生の自助グループ『雑談会』を立ち上げる。
●著書:『映画で学ぶ特別支援教育』『特別支援教育コーディネーター必携ハンドブック』(共著)他多数

14:50～15:50 講座①

講座名	内容	講師	備考
1 子どもと生きる作文・日記・通信講座	だから子どもたちが愛しいのです ～一緒に生きること・「赤ペン」のその先に～	鈴木 哲実 (作文の会・中学校教師)	
2 若者、集まれ!みんなで語ろう!私の1ヶ月	新学期スタートから約1ヶ月。こんなことで困ってる。学年の先生とどんなふうに協働したらいいの?子どもとの関係は?	生活指導研究会	
3 みんなができる・わかる 跳び箱運動 ①	楽しいスモールステップで「開脚跳び」と「かかえ込み跳び」ができるようになる道すじを紹介します。	沼倉 学 (学校体育研究同志会)	動ける服装と靴の用意をお願いします。

16:00～17:00 講座②

4 社会科・総合の授業	<石臼概論> ??? 育てて 分けて 挽いて 食べる まさに、アクティブ・ラーニングの授業	佐藤 広也 (歴史教育者協議会・アニメーションクラブ)	
5 教師～心と体のケア	学校は、押し寄せてくる業務と仕事の中で、疲れ切ってくることも…。自分の心と体をどのように保てばいいのか、考えます。	間宮 正幸 (共育の森学園理事長・前 北大教育学部教授)	
6 みんなができる・わかる 跳び箱運動 ②	講座3の続き	沼倉 学 (学校体育研究同志会)	動ける服装と靴の用意をお願いします。

◆申し込み◆ (当日参加も可です。遠慮せずどうぞ。)

主催者(道民教)へ、氏名・連絡先(メール or FAX or 住所)・勤務先名を連絡してください。事前申込み締め切りは、4月27日(木)です。

主
催

北海道民間教育研究団体連絡協議会(道民教)
事務局長 井上大樹(札幌学院大)
メール: hiroue1976@yahoo.co.jp
TEL/Fax: 0123-21-8627
ウェブサイト: http://douminkyuu.okoshi-yasu.com/

《春の学習会》
◆特別企画◆ 10:20~12:00 ちえいあ 中研修室2

■資料代■

- 午前中の◆特別企画◆のみ参加される方は 500円
- 午後の《春の学習会》にも参加される方は、午後の学習会の資料代で◆特別企画◆にも参加できます。

いま 子ども食堂は？！

～ひとりひとりに物語がある～

《特別報告》

「北海道における〈子ども食堂〉の展開と課題」



◆報告者：二本松一将 さん（札幌学院大学2017年3月卒業・前「子ども食堂ここなつ」代表）

二本松さんは、自身の愛着障害性と向き合いながら、子ども食堂ネットワークとして活動している。2017年4月から札幌学院大学研究生となる。

《トークセッション》

二本松一将さん × 二通 諭さん（札幌学院大学人文学部人間科学科教授）

北海道では、各学級に5～6人ともいわれる「子どもの貧困」家庭の実態があり、子どもたちは様々な問題を抱え学校へ通っています。そうした中で、北海道内の〈子ども食堂〉はどのような広がりをもっているのか？そして、その実態からどのようなことが見えてくるのか？また、そこにはどのような物語があるのだろうか？その意味と課題について考えていきたいと思ひます。

-----切り取り線-----

道民教・春の学習会 2017 参加申し込み

2017年 月 日

氏名	勤務先 / 所属
住所（自宅） ◆連絡先	〒 ◆TEL ◆メールアドレス：
参加日程	<input type="checkbox"/> 全日程〈午前・午後通し〉 <input type="checkbox"/> 午後全て〈講演・講座〉 <input type="checkbox"/> 全体講演のみ <input type="checkbox"/> 講座のみ <input type="checkbox"/> 午前・特別企画のみ
参加希望講座	★参加したい講座に○をつけてください（当日の変更は可能です） 【講座①】 <input type="checkbox"/> 1. 子どもと生きる作文・日記・通信講座 <input type="checkbox"/> 2. 若者、集まれ！みんなで語ろう！私の1ヶ月 <input type="checkbox"/> 3. みんなができる・わかる跳び箱運動① 【講座②】 <input type="checkbox"/> 4. 社会科・総合の授業 <input type="checkbox"/> 5. 教師～心と体のケア <input type="checkbox"/> 6. みんなができる・わかる跳び箱運動②
参加種別	教員・保育士・父母・学生・一般（当てはまるところを○で囲んでください）

●申込先：道民教 ● Email : hiroue1976@yahoo.co.jp FAX : 0123-21-8627